

日本共産党の小田桐たかしです。通告に従い、2019年度予算編成方針について、以下、一括して質問します。

まず(1)、市長就任16年目を迎え、「大変厳しい予算編成」という認識であれば、市民生活に影響のない範囲の骨格予算とし、来年4月市長選挙後の新しい体制による全庁挙げた連携及び熟議に基づく政策判断により、補正予算による対応も想定しているのではないか。また予算編成方針で指摘する様々な行政課題は、今に始まったことでも本市独自の苦しみでもないと考えるが、予算編成に貫く理念は何と捉えているのか、見解を求めます。

次に(2)都市基盤の整備については市道や橋梁の補修改修、緑地整備・維持管理の在り方など数多くありますが、1点に絞ってお聞きします。つくばエクスプレス(TX)沿線整備について、H10年度、市が財政見通しを作成したが、20年が経過し、また総合計画最終年度を迎えるにあたり、どう総括し、今後の事業展開にとって何が必要となるのか、見解を求めます。

次に(3)生活環境の整備についても、消防・防災や環境、上下水道とお聞きすべき課題は数多くありますが、1点に絞ってお聞きします。新しい一般廃棄物処理基本計画の作成やごみ焼却施設整備方式検討業務委託に着手するもとので、将来の最大人口や一般廃棄物の1日最大処理量の想定、クリーンセンター及び焼却炉本体の経年劣化や処理能力、更新、それまでに積み立てる基金目標などはどういう内容となっているのか。また今後の事業展開にとって何が必要となるのか、見解を求めます。

次に(4)教育文化の充実向上については、最低限お聞きすべき3つの課題をお聞きします。

まずア、単独校を基本としていた小中学校整備の歴史とは異なり、中1ギャップ解消を掲げて導入した小中併設校とは異なり、開設からたった2年後に想定していない新設小中学校は併設校ではなく単独校を導入する。一方、文部科学省や教育長の適正規模(小中学校1校当たり18学級)の2.7倍もの最大規模を設定したが、その最大規模さえ上回る規模による学校経営の想定、現場教師の8割が効果を認める少人数学級の後退の方針など学校環境のあるべき基準がこれほどないがしるにされた歴史はない。また、過大規模小学校が6年後には市内6校も誕生し、学区変更の度に距離が遠くなる学校という経過を含め、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育の独立性を確保し、教育委員会が所管する各施策を充実するために何が必要となるのか、見解を求めます。

次に(5)市民福祉の充実についても、高齢者から子どもたちまで、また全市域において矛盾や要求が渦巻いていますが、1点に絞ってお聞きします。幼児教育・保育の無償化について市負担の増大や高額所得者ほど恩恵を受けることになるが、市としてどう捉えているのか。また、H30年度一般会計予算では、歳出合計554億5千万円のうち保育所・学童保育に1割以上、民生費全体260億5千万円の3割以上を占め、市長の求める「選択と集中」が凝縮している。しかし、妊娠から出産・育児、そして児童、中高生の各段階をトータルでより良くし、子どもの権利として発達、成長、育ち、学びを支援し、人生の基盤をつくる時期を保障するため何が必要となるのか、見解を求めます。

次に（６）産業の振興について、後継者問題や生産緑地の保存・支援など農業政策も問われていますが、手っ取り早く効果が分かりやすい１点に絞ってお聞きします。公共施設や道路の更新時期同様に、定住促進や世代交等をめざした住宅や店舗等へのリフォーム需要が高まっており、地域内経済循環をめる機会のリフォーム需要が高まっており、地域内経済循環を高める機会に活かすは何か必要となるのか

次に（７）行政の充実について、２点のお聞きします。

まずア、平成 32 年 4 月から導入される会計年度任用職員について、現在の取り組み状況と今後、何か必要となるのか、まず答弁を求めます。また本市の場合、市長のアウトソーシングの下で非正規職員が様々増やされてきました。そこでこの 16 年振り返り、正規職員及び非正規職員はどう推移し、全体職印に占める割合はどう変化してきたのか、今度の制度改正はどの程度の職員に影響があるのか、合わせてお答えください。（千葉県：10 年間の知事部局の職員数をみると、正職員は 1134 人減らされ、今年度 7238 名になっています。一方で非正規の職員は、250 人増えて、今年度は 1313 名と大幅に拡大され、その占める比率は 15.4%）

イ 次にイ、ふるさと納税については、既に事業化し、担当課も決め推進していたのに、わざわざ新たな施策を市長トップダウンで位置づけ、市長が立ち上げた総合政策部内のマーケティング課に新たに担わせた経緯の下、我が党は懸念や課題を指摘し続けた方向で、今年度 2 度にわたる総務省からの通知を受け、改定を余儀なくされた。今どのように総括し、再発防止や行政の充実につなげるために何か必要となるのか、見解を求めて 1 回目の質問を終わります。